

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年03月27日

計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)(第2期計画)											
計画の期間	令和04年度 ~ 令和06年度 (3年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	北九州市											
計画の目標	港湾施設に適切な改良を加えることで、施設の安全性や利便性向上を図り、安全で利用しやすい港づくりを形成する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,434	A	1,434	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R5末	R6末
1	物揚場利用者の安全性や利便性向上を図るため、改良を行う(L=135m)。 物揚場の改良延長135mを目標とする。 物揚場の改良延長=R4d当初からR6d末までの改良延長	0m	68m	135m
2	操船の安全性確保や港内静穏度を確保するため、防波堤の改良を行う(L=40m)。 防波堤の改良延長40mを目標とする。 防波堤の改良延長=R4d当初からR6d末までの改良延長	0m	40m	40m
3	岸壁利用者の安全性確保のため、エプロンの改良を行う(L=370m)。 岸壁の改良延長370mを目標とする。 岸壁の改良延長=R4d当初からR6d当初までの改良延長	0m	370m	370m
4	航行の安全性確保や利便性向上のため、航路拡幅・埋没浚渫を行う(V=5,300m <sup>3</sup> )。 航路拡幅・埋没浚渫による浚渫土量5,300m <sup>3</sup> を目標とする。 航路拡幅・埋没浚渫量=R4d当初からR6d末までの浚渫土量	0m <sup>3</sup>	5300m <sup>3</sup>	5300m <sup>3</sup>
5	ふ頭の利便性向上のため、保安設備の改良を行う(L=3,400m)。 保安設備の改良延長3,400mを目標とする。 保安設備の改良延長=R4d当初からR6d末までの改良延長	0m	2200m	3400m
6	フェリー乗降の安全性・利便性向上のため、可動橋の改良を行う(N=3基(L=89m))。 可動橋の改良3基(L=89m)を目標とする。 可動橋の改良延長=R5d当初からR6d末までの改良施設数	0基	0基	3基

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="checkbox"/>
国土強靱化地域計画名：北九州市国土強靱化地域計画関連する基幹事業：全基幹事業																

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-001	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	松ヶ島物揚場(-3m)(改良)	物揚場改良 L=17m	北九州港・松ヶ島地区						135		策定済	
		A1-1																		
	A02-002	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	若松船だまり東側物揚場(-2.5m)(改良)	物揚場改良 L=20m	北九州市港・若松地区						179		策定済	
		A1-2																		
	A02-003	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	若松船だまり西側物揚場(-2.5m)(改良)	物揚場改良 L=48m	北九州港・若松地区						38		策定済	
		A1-3																		
	A02-004	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	若松船だまり防波堤(改良)	防波堤改良 L=40m	北九州港・若松地区						54		策定済	
		A1-4																		
	A02-005	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	北湊2号物揚場(-3.5m)(改良)	物揚場改良 L=50m	北九州港・北湊地区						375		策定済	
		A1-5																		
	A02-006	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	太刀浦31~34号岸壁(-10m)(改良)	岸壁改良 L=370m	北九州港・太刀浦地区						48		策定済	
		A1-6																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-007	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	奥洞海航路(-8.5m)(改良)	浚渫1,200m3	北九州港・洞海地区						20	策定済	
	A1-7																		
	A02-008	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	奥洞海航路(-8.5m)(改良) (拡幅)(2工区)	浚渫V=4,100m3	北九州港・洞海地区						183	策定済	
	A1-8																		
	A02-009	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	保安設備(改良)	赤外線・振動センサー改良 L=3,400m	北九州港・太刀浦地区ほか						252	策定済	
	A1-9																		
	A02-010	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	新門司北地区可動橋(改良)	可動橋改良 3基(L=89m)	北九州港・新門司北地区						150	策定済	
	A1-10																		
											小計							1,434	
											合計							1,434	

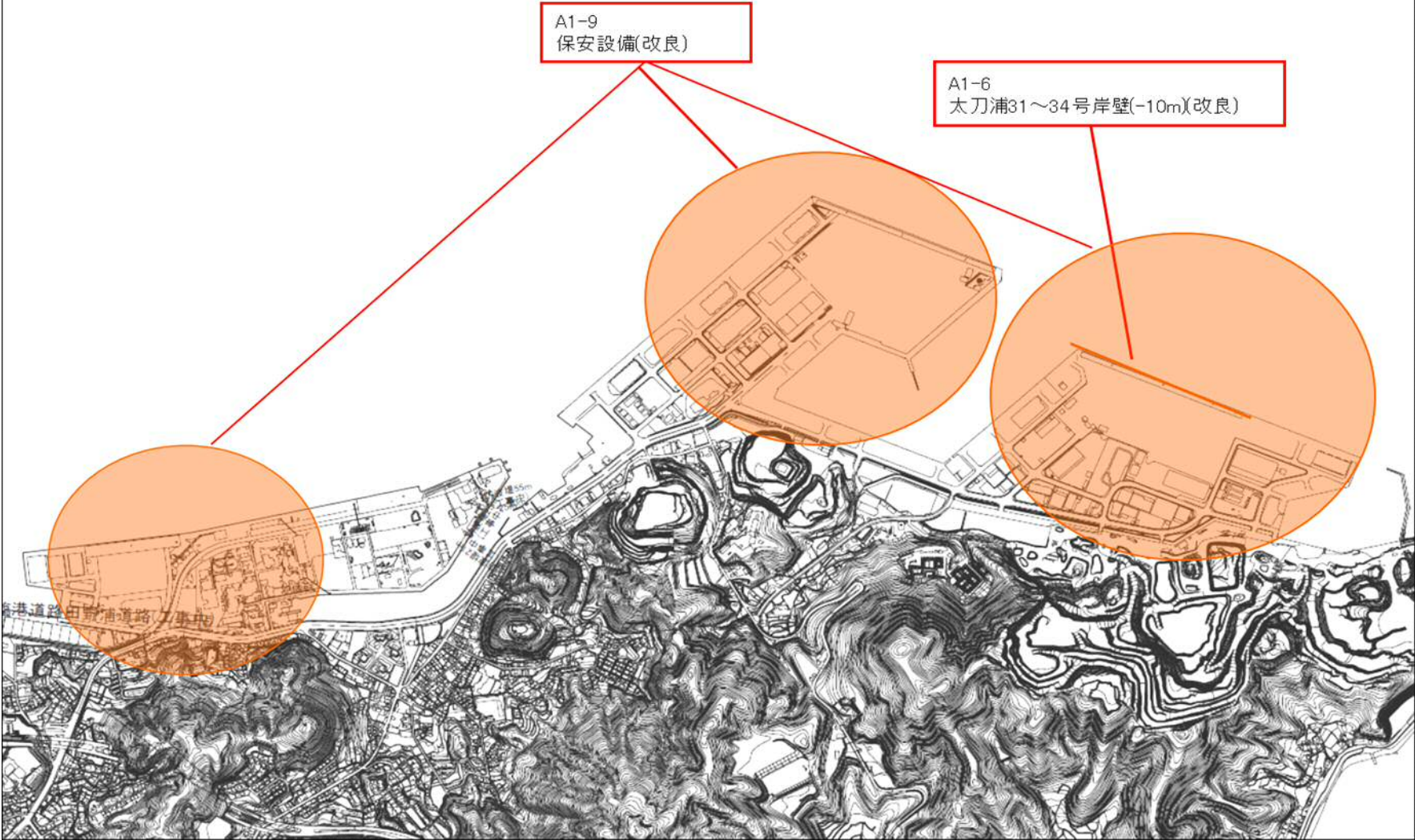
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	108	84			
計画別流用増 減額 (b)	0	5			
交付額 (c=a+b)	108	79			
前年度からの繰越額 (d)	0	66			
支払済額 (e)	42	128			
翌年度繰越額 (f)	66	17			
うち未契約繰越額(g)	22	17			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	20.37	11.72			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	作業船の手配に不測の日数を要したため	関係者協議に不測の日数を要したため			

計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり（防災・安全）（第2期計画）		
計画の期間	令和4年度 ～ 令和6年度（3年間）	交付対象	北九州市

**太刀浦・田野浦地区**



計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり（防災・安全）（第2期計画）		
計画の期間	令和4年度 ～ 令和6年度（3年間）	交付対象	北九州市



計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり（防災・安全）（第2期計画）		
計画の期間	令和4年度 ～ 令和6年度（3年間）	交付対象	北九州市



計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり（防災・安全）（第2期計画）		
計画の期間	令和4年度 ～ 令和6年度（3年間）	交付対象	北九州市

